



新ランドマーク ENTRIO OPEN!

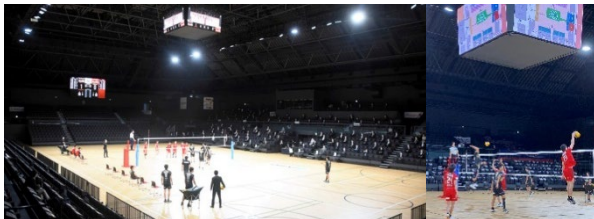


注意 (グリーンゾーン)	警 戒 (イエローゾーン)	厳重警戒 (オレンジゾーン)	危 険 (レッドゾーン)
10人、5%未満等	新規感染者10人、陽性率5%等	20人、10%等	40人、20%等

●10月17日時点(中日新聞より)
 19.9人 4.4% 85.1人 9.3人



●豊田合成創立70周年記念事業の一環としてJR稲沢駅に豊田合成記念体育館**エントリオ**がオープン。ウルフドッグス名古屋などの活動拠点となるアリーナは最大3,500人収容、ナゴヤキャッスルのレストラン**アンドレッセ**、コンビニの**ポプラ**も併設され地域交流の場として期待される稲沢の新たなランドマークの誕生です。エントリオの愛称の由来は「しごと」「地域」「スポーツ」の三つの縁(エン)を大切に、お互いを支援(エン)し共に発展していこうと、三重奏のトリオをつけて命名されたものです。(アリーナ写真は朝日新聞デジタルから)



■9月定例県議会閉会

10月13日に閉会した9月議会では、愛知県新型コロナウイルス感染症対策推進条例やGo To トラベルに宿泊代金割引クーポンを上乗せする観光消費の喚起の取組などコロナ対策の719億円を含む一般会計補正予算804億4千万円など上程されたすべての議案を可決・同意しました。

議会からは委員会へのオンライン出席のための委員会条例の一部改正を可決、令和元年度一般会計・各特別会計決算及び公営企業会計決算については閉会中の継続審査とし、地方財政の充実・強化について、地域公共交通への支援の強化について(以上新政あいち)、防災・減災、国土強靱化の推進について(自民・公明)、小規模事業者に対する支援の強化について(自民)、地方自治体のデジタル化の着実な推進について(公明)の各意見書を採用し国へ送致しました。また、大村秀章愛知県知事辞職勧告決議についての請願は不採択としました。

●愛知県議会委員会条例の一部改正について

総務省からコロナの感染拡大防止を目的とした委員会のオンライン参加が可能との見解が示され、県議会としても委員会条例に「第11条の2出席の特例」の一条を加え「新型コロナウイルス感染症等その他重大な感染症のまん延または地震、台風その他の大規模な災害の発生等」により、委員会を招集する場所に参集することが困難な委員があると認めるときは、映像と音声の送受信により…」などを盛り込み条例の一部改正をしました。

総務省の見解を拡大?し、大規模な災害まで例示するとともに、等を付けることにより社会の変化を見据え将来に向けての議論の余地を残しています。(大阪府議会は育児、介護等のやむを得ない事由も明記)

■新政あいち県議団議会改革PT

鈴木が事務局長を務める議会改革PTではコロナの拡大により社会状況等が異なってきたため7月の時点でクラウド化などから一歩進めICTを活用した議会改革など重点項目の再検討(強化)を図りました。

1-1.情報共有とペーパーレス化

タイムラグのない情報共有と環境問題及び経費削減の観点から情報をデジタル化しタブレット等の活用で紙媒体のFAX等を廃止の方向

1-2.Web会議の導入

新しい生活様式の中でも必須となるWeb会議の導入について総務省や議会の動向を見つつタブレットやWifiルーターなどの導入を図る

2.常任委員会のネット中継の導入

3.本会議中継のスマートフォン対応

4.高校生議会の開催

■委員会における委員の「出席」に関する総務省の見解のポイント

- ・地方自治法では本会議の出席は議場にいることと解されているが委員会は条例で定めるとされている(基本は委員会の開催場所に参集)
- ・コロナの蔓延防止措置の観点等から委員会の開催場所への参集が困難と判断される場合はオンラインによる委員会の開催を差し支えなしと示した(委員会を開催すること自体が困難な場合を想定)

【都道府県議会の検討状況】

・条例改正を実施した都道府県は大阪府、群馬県、熊本県の3府県、条例改正検討中14都県、予定なしが29道府県(7月時点新潟県議会事務局調査)→9月30日東京都条例改正)

3つの「密」を避けて行動を抑制してください!

—新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力を!—

換気の悪い密閉空間 多数が集まる集場所 間近で会話や発声をする接場面

STEP 21 県政 REPORT





●**サンドアートの展示** 稲沢サンドフェスタのイベントは中止ですが砂像は展示
●**荻須記念美術館特別展** 牛島憲之展 府中市美術館コレクションは24日から



火野さん達がデザインしたアマビエといなっぴーの砂像を作る近藤さんは稲沢市祖父江町のサリオパーク祖父江で (写真は中日新聞より)

■新政あいち県議団令和3年度施策及び当初予算に対する提言

9月議会閉会日に来年度予算編成に向けた知事要望(提言)を団5役(谷口団長、とりまとめ渡辺政調会長)が行いました。15項目の最重点要望事項は以下の通りです。

- ① 情報化施策の推進
- ② 人権教育・啓発の推進
- ③ プラスチックごみによる環境問題への取組の推進
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策の強化・推進
- ⑤ 児童虐待予防、児童相談センターの体制強化
- ⑥ 医師偏在の是正・看護師不足の解消
- ⑦ コロナ禍における雇用の維持・創出
- ⑧ スタートアップ支援を中心とした第4次産業革命への対応
- ⑨ 中小企業の人材確保と事業承継の推進
- ⑩ 中部国際空港島及び周辺地域の国際観光都市化
- ⑪ 森林、農地、漁場の保全により多面機能を発揮させる政策の推進
- ⑫ 大規模災害に向けた減災対策・分散避難に備えた対策の推進
- ⑬ 2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会の推進
- ⑭ 教員の働き方改革と良好な教育環境の整備
- ⑮ 交通事故防止対策の推進

■愛知県建設局長への稲沢市要望

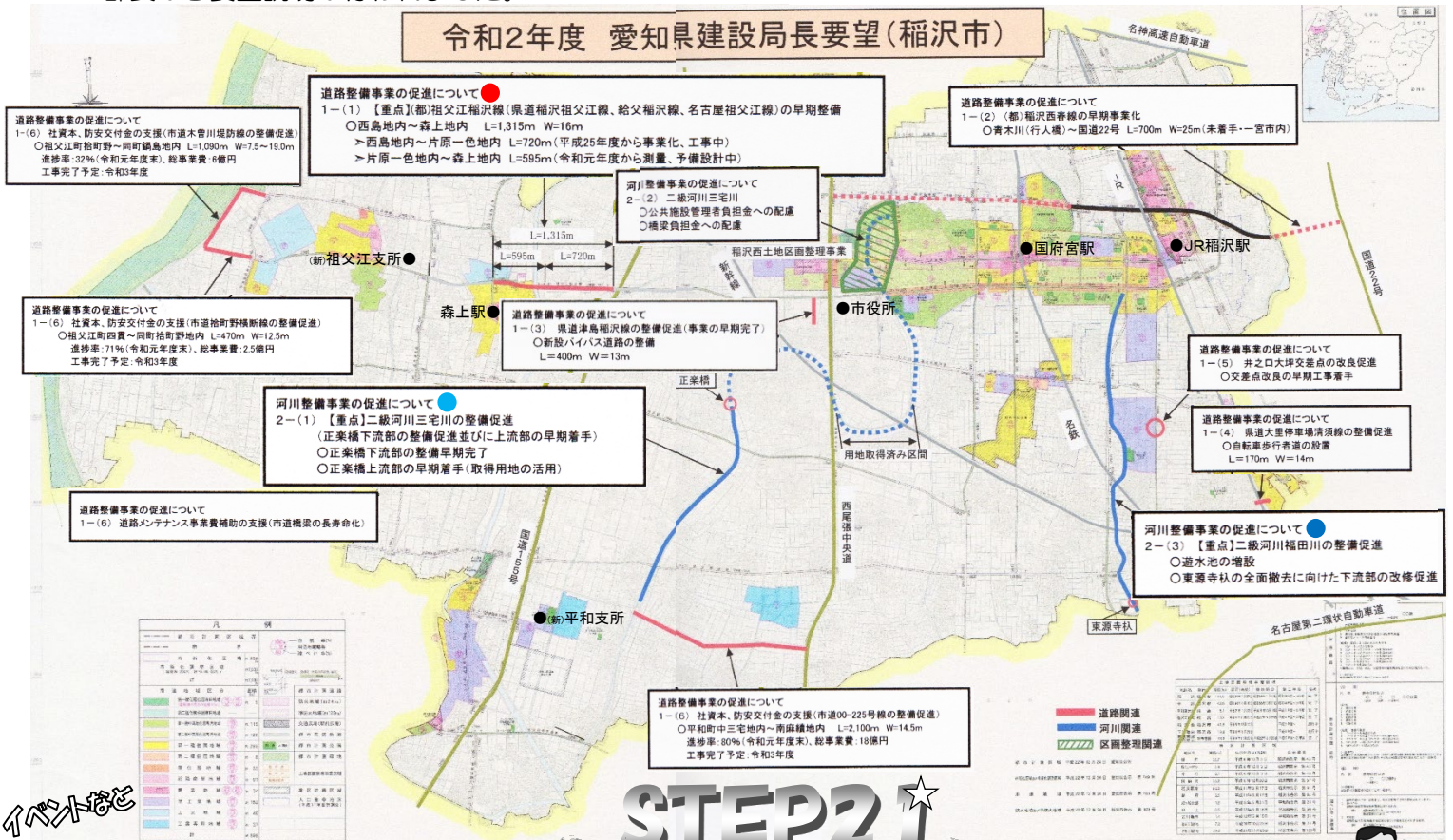
稲沢市から建設局長への要望活動が行われ地元議員として出席しました。市長挨拶の後、道路整備事業6項目、河川整備事業3項目の中から重点項目として合併時の新市の建設計画にある●(都)祖父江稲沢線の早期整備、●2級河川三宅川の整備促進、●2級河川福田川の整備促進について鈴木建設部長から要望説明が行われました。

●濃尾用水協議会の監事を拝命

宮田用水の総括監事を拝命した関係で濃尾用水協議会の監事に選出頂きました。犬山頭首工ができる前は、宮田、木津、羽島の各用水が別々に木曾川から取水していましたが、三つの用水を合わせて安定した取水をするため、昭和32年からの国営濃尾用水土地改良事業(第1期)が昭和43年に完成しました。



令和2年度 愛知県建設局長要望(稲沢市)



イベント

- 24日 稲沢ライオンズクラブ西尾張中央道クリーン大作戦
- 29日 県立稲沢東高校創立50周年記念式典
- 11月4日 日光川水系改修促進期成同盟会愛知県要望

STEP 21

●市長選挙&市議補欠選挙

11月15日告示 22日投開票
Let's vote 投票に行こう!



稲沢市議会の新議長に木村喜信氏(4期70歳)

大里西、副議長に大津丈敏氏

(3期70歳稲沢)が就任され、議運副委員長に木全氏、文教厚生委員長に志智氏、経済建設副委員長に富田氏が就かれるなど新体制となりました。With・After コロナへ…未来へつづくまちづくりへ 一生懸命動きます。愛知県議会議員 鈴木しゅん